

## 平成24年度 9月定例市長記者会見

日時：平成24年8月31日（金）午前11時～午前11時30分

場所：小杉庁舎401会議室

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、チューリップテレビ、射水CATV、庄東タイムス、ホットライン KOSUGI

当局出席者：市長、市長政策室長、市長政策室次長、行政管理部長、政策推進課長、総務課長、まちづくり課長（司会）

### ○質疑応答の概要

**Q1.** 先日発表された「新庁舎に関する所信表明」で、「よりよい庁舎への議論を深めたい」とあったが、市長の考える「よりよい庁舎」とは具体的にどのような方向性を指すのか。また、所信発表を受けて市民からどのような反応があったか。

**A.1** 「よりよい庁舎への議論を深めたい」というのは、「災害対策の機能」「窓口サービスの充実」「市民へのサービスをしっかり提供できる」「果たさなければならない役割を果たせるような庁舎」などと考えている。多くの市民からご意見をいただき、議論を深め基本設計に反映させていきたい。

市民の方の反応だが、直接私のところにきているという話はまだ聞いていない。今年5月から6月にかけて庁舎整備に関する出前講座を開催し、従来から寄せられていた「経過の説明・現在の考え方・不安・疑問」について説明させていただいた。出前講座を経てきた実感としては、「市の未来を考えたときに庁舎整備をすることはやむを得ない」とする方の意見を含めると、大部分の方に賛成いただけているように感じている。（市長）

**Q2.** 先日小矢部市でアウトレットモールを誘致するという話があったが、射水市でも誘致対策費を盛り込んでいたように思う。射水市におけるアウトレットモール誘致の現状、これからの可能性を教えてください。

**A2.** 先日、小矢部市がアウトレットモール誘致のための土地を取得するという報道があった。小矢部市でもアウトレットモールの誘致に向けて動いているという情報は、かねてからこちらでも把握していた。この報道に関して、われわれも情報収集を行っているところである。しかし、こちらが認識しているところによると、小矢部市は土地の取得には踏み込むが現状としてアウトレットモ

ールができると決定した段階であるわけではない。

射水市としては、この間にも北陸地域にアウトレットモールがないという状況・また、北陸地域の様々な環境から考えても、アウトレットモールの誘致は可能であると考え、誘致活動を進めてきた。現状としては、元々言われていた商圈人口の問題や冬場の雪の問題などいろんな課題があるため、まだ誘致には至っていない。引き続き誘致活動に関しては取り組んでいきたい。

小矢部市をはじめ、複数の自治体がアウトレットモールの誘致について動いている。これは、射水市が大々的にアウトレットモールの誘致に取り組むという発表をしたことによって、多くの市民の皆さんの関心が高まった影響であると思っている。射水市での誘致活動は今後も進めていくが、北陸地域全体のことを考えてもアウトレットモールを北陸地域に整備することはやはり重要なことである。他市と足をひっぱりあうのではなく、健全な競り合いの中で誘致を進めていきたい。(市長)

**Q3-1.** 所信表明について、8月定例記者会見では「場所・時間ともに未定だが、そのような場を設けたい」と言っていた。結果としては、全員協議会の後に会見を行い、ケーブルテレビで放映する流れになった。一部の市民からは、「市民の前に出て直接話すべきなのではないか」という声も寄せられているが、それについてどのような考えを持っているのか。

**A3-1.** 先日の所信表明に至った経緯としては、こういった形が最良なのか内部で検討した結果、ケーブルテレビで放映し、記者の方に説明する場を設けるという形で設定させていただいた。「市民の前で直接話をするべきでは」という話があったが、自分としては決して逃げ隠れしているわけではなく、話があればそれについて何うことは一向に構わない。

所信表明では、私の考えをしっかりと述べさせていただいた。それに対して市民の皆さんが手紙やメールで質問していただくのは良いことだと思う。しかし、今回は所信表明に対してその場で意見や質問をいただくという趣旨のものではなく、この間十分に詰めてきたものに対して私から改めて説明しご理解をお願いする、という趣旨である。中には直接意見を述べたいという方もおられると思うが、私は決して逃げ隠れしているつもりはないので、直接意見を言うことに関してはまた別の機会でも良いのではと思っている。(市長)

**Q4-2.** 所信表明後の会見は、記者クラブによる申し入れがあつて開かれたと聞いているが。

**A4-2.** そうだと聞いている。(市長)

**Q-5** アウトレットモールについて、小矢部市は市自体が動いて土地を確保していた。射水市は誘致に向けて具体的にどのような動きをとっているのか。アウトレットモールについては市民の関心も高く、市の予算にも計上されていたと思うので、具体的にどのような動きをとってきたのか教えていただきたい。

**A5.** 戦略的な部分もあるので、具体的にどこまで話せるか難しいところもある。土地については先方にも提案をさせていただいている。現段階では土地の取得等について地権者の方と特別交渉しているわけではないが、一定の目処がたっているものと認識した上で場所の提案をさせていただいている。

また、アウトレットモール事業者の方への提案も含めた誘致活動はもちろんだが、例えば全国の中でアウトレットモールを、射水市と場所を同じくして立地されているような他の施設にもアプローチしながら、多面的に、また直接的にも誘致を図っている。(市長)

**Q6.** 庁舎の中間案の駐車場の台数について、出前講座では「職員用の駐車場は入れない」と言っていたが、今回の資料の「150台」というのは公用車と利用者と職員とそれぞれ何台分なのか。

**A6.** 職員駐車場については従来の考え方とおおりである。150台というのは、以前にも説明したように「公用車と利用者を含めた150台」を確保するための数字である。職員駐車場については、行政が公の税金を投入して改めて場所を確保することの懸念から、職員駐車場については職員それぞれがお金を出しあい独自で確保するといった手法をお願いしたいと考えている。(市長)